

波紋呼ぶ「おトクな切符」の見直しと新商品 「えちご往復切符」にかわる「しらゆきW切符」は何と6080円



「えちご往復切符」の新商品発売と一部見直しを行うと発表しました。

新潟支社のホームページによると、新たに発売する商品は、「しらゆき・北陸往復きっぷ」、「しらゆきWきっぷ」、「新幹線Wきっぷ」の3種類です。このうち「しらゆきWきっぷ」は3月13日で廃止となる「えちご往復きっぷ」に事実上代わる商品ですが、これまでの4110円(大人)が一気に6080円(同)にはね上がりま

す。しかも、これまで可能だった新幹線利用が外されました。これまで「えちご往復きっぷ」を利用してきた人たちからは、「これはひどい。改善してほしい」という声が上がっています。

見直しを行うのは、「えちごツアーパス」です。フリーエリア内の普通列車(快速含む)の普通車自由席が2日間乗り放題のきっぷですが、直江津市振間が新に対象となったものの、料金は2540円から2690円に値上がりします。これについても不満の声が出ています。

JR東日本はこのほど、3月14日の北陸新幹線長野～金沢間開業及び信越本線妙高高原～直江津間の「えちごトキめき鉄道株式会社」への経営移管に伴い、新潟エリアの「おトクな

料金設定の根拠となるものが示されていません。私も時どき「えちご往復きっぷ」を利用していますが、「しらゆきWきっぷ」の高いのにはびっくりしました。JR東日本には再考してほしいものです。写真は快速くびき野号です。柿崎駅にて撮影しました。

介護保険料基準額(案)は月額6358円に

厚生常任委員協議会が23日開催されました。介護報酬などについて国の方針が決まったことから、最新の第6期介護保険料(案)が出されてきました。

保険料基準額は第5期と比べて133円低い6358円(月額)です。これくらいの下がり方では被保険者の負担は相変わらず重過ぎですね。

担当部長の説明後、私の方から、地域支援事業費が前回よりも731万円少なくなつたこと、理由と中身、計画期間の途中で公費軽減割合が変わっても保険料を換えてはいけないという法的な根拠などについて質問しました。次回、この問題で質問するのは3月議会の常任委員会となります。みなさんのご意見をお寄せ下さい。



【ひんねり餅】うるち米をついて作ったひんねり餅をいただきました。昔は酒屋もんに出たお父さんたちが酒屋で作ったひんねり餅を土産に持ち帰ったものです。このもちは「もちつき器」をつかってついたとか。懐かしく、おいしかったです。

上越市の土砂災害警戒区域の指定率は県より低い47%

新潟県上越地域振興局の鈴木興次局長がこのほど上越市議会で講演、そのなかで上越市など管内の土砂災害警戒区域の指定数などの最新データを明らかにしました。

鈴木局長は「土砂災害警戒区域の指定率は県が73%なのに上越地域は47%だ。ちょっと恥ずかしい」とのべました。私から、「新井砂防事務所の体制が弱いのではないか」と質問したところ、「それも1つの原因だ」と答えました。



市町村名	危険箇所数 A	土砂災害警戒区域の指定数								指定率 B/A	
		急傾斜		土石流		地すべり		小計			
		特別		特別		特別		特別			
新潟県	9,924	3,263	2,938	3,277	1,703	735	0	7,275	4,641	73.3%	
上越地域 振興局計	上越市	1,248	254	244	203	92	134	0	591	336	47.4%
	妙高市	221	25	23	61	36	21	0	107	59	48.4%
	計	1,469	279	267	264	128	155	0	698	395	47.5%

はしづめ法一の 活動レポート

No.1694 2015.2.1
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三四二回

正月休み

年老いた親を実家に置いて、遠くで暮らす人はいつもどんな気持ちでいるのでしょうか。正月の三が日が過ぎた四日、桑取地区の土口にある幸太郎さんの実家を訪ねて、そんなことを考えました。

幸太郎さんの母親、ふじさんが元気かどうか様子を見ておきたいと思ったのでしよう、また、三和区の橋本さんがあらかじめ、「寄らせてもらいますよ」とふじさんに電話をしていました。

玄関で「いになったかいね」と大きな声を出したら、「お茶、飲んでいけばいいくて」と誘われました。街頭演説をしてきたばかりなので、喉も乾いています。遠慮せずに居間にあげさせてもらって、ふじさんの顔を見ると、色つやのいい顔をしています。とても元気そうでした。

ところが、ふじさんはいきなり、「いやー、足が立たなくなっちゃった」と言ったのです。そしてこちらからさかさないうちに、ふじさんは年末から正月にかけて実家にいた幸太郎さん親子の話を続けてくれたのでした。

ふじさんによると、幸太郎さんと彼の娘さんは年末から一週間実家に泊まっていたそうです。二人ともじつとしていられない性格で、いつもせつせと働いてくれたとか。掃除も洗濯も、もちろん料理もしてくれました。ふじさんは「動かんでいいよ」と言われ、ずっと椅子に座ってばかりいたのです。だから、「足が立たなくなっちゃった」んですね。一緒にお茶飲みをした橋本さんも笑いました。

ふじさんの話を聞きながら、目の前にあるテーブルの上のものを見ました。皿に入ったおかずは何と七種類もあるじゃありませんか。「ささぎ」の茹でたもの、ゼンマイの煮つけ、白菜の漬物と沢庵、レンコンの煮つけ、キムチ、それと大根を薄く切ったものもありました。みんなうまそうです。それぞれの皿に入っているものを少しずついただきます。このうち大根については、ふじさんの友達が雪の下から掘り出してくれ、それを使って幸太郎さんが作ったのだそうです。なかなかいい味でした。

私が「おいしい」という言葉を何度も使ったものだから、ふじさんのしゃべりはますます滑らかになりました。山越えて名立区の折戸へ抜ける道の話からキムチの話になりました。名立の不動に住む誰かさんから心配してもらったキムチの素を使って近くの集落の女性がキムチを作り、ふじさんにくれたのだそうです。ふじさんのまわりにはいろんな人がいて、生活を支えてくれているんですね。

いつの間にか、キムチの話から豆腐の話になって、たびたびやってくる長浜の豆腐屋さんのおかげで助かっているとか、昔、ふじさんがやっていたお店では、正月になると、豆腐がバカ売れしたもんだということも聞きました。私は三十数年前に初めて桑取地区に入ったのですが、ふじさんのお店については不思議なことに、あまり記憶に残っていません。でも地域の小さな商店がお盆や正月、とても忙しかつただろうことは、私のふるさと、尾神の「カワバタ」（杉田商店）の父ちゃんや母ちゃんの若かりし頃の姿を見ていますので、よくわかります。

この日、ふじさんの家にいたのはわずか二〇分ほどでした。読書好きの幸太郎さんが正月休み中、ずっと動き回り、料理までする人だとは思いませんでした。せがれに「足を立たなくさせられた」ふじさん、足が痛かったかもしれないけど、いかったねかね。

「政治にも春よ来い!」の思い熱く語り、楽しく交流

吉川区原之町にある多目的集会場は25日、総選挙に続いて4月のたたかいかでも躍進を、「政治にも春よ来い!」と集まった人たちの熱気に包まれました。日本共産党の「新春の

つどい」です。

小田順子さんが私の随筆、「もらい乳」を朗読してくださり、その後、私から政治家を志すことになった雪の中での体験、祖父の死、初めての町議選での公約などについて語らせてもらいました。そしてこの4月、県民の命と暮らしを守るため、柏崎刈羽原発再稼働を許さないためにどうするか、農業県にふさわしい農業の発展をどう作りだしていくかについて私の考えをのべました。さらに、“身近な県政”を実現していくために県政レポートを発行していく決意を表明し



ました。

懇親会では、同級生や従兄などが私を励ますスピーチをしてくれました。私と同じ集落で生まれた春日久代さんなどが歌謡曲を熱唱、ハーモニカ演奏、ドジョウすくい、爆笑漫談などを楽しみました。お酒の入った席ではありませんが、市政や県政への要望もいくつか寄せていただきました。元気の出る楽しい会になったと思います。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございます。



直江津の三八市に「蠟梅(ろうばい)」が出始めました。「春を呼ぶ花」です。とてもいい香りがしますね。撮影は23日。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月21日(水)	1月28日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.046	0.047
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.047	0.040
東頸消防署	0.047	0.047
高士分遣所	0.040	0.037
名立分遣所	0.050	0.053